

「未来の学芸員」育成プログラム開発講座

オンライン語り場

「地域の子ども、若者を支えるミュージアム活動」

我が国では、小・中学生の不登校が約30万人（2023年度調査、文部科学省）を越え、15歳から39歳までの若者のひきこもりは約60万人（2023年3月発表、内閣府）という深刻な状況にあることから、若い世代のメンタルヘルス・ウェルビーイング対策は喫緊の課題です。

こうした事態の改善に向け、地域の社会資源の一つである博物館は、コレクションを活用して、どのように深刻な社会課題に向き合うことができるのでしょうか？

カナダの医師会は2018年11月から、患者の健康回復を促進する治療の一環として、博物館への訪問を「処方箋に書く」取り組みを始めています。医師会とモントリオール美術館が連携し、心身にさまざまな健康問題を抱える患者とその家族などが、無料で博物館に入館し、芸術文化の健康効果を享受できるようにしました。

地域にあるミュージアムに、できることはないのか？

そこで、本事業では、カナダをはじめ、米国、英国、台湾などの事例調査をもとに、地域住民に向けた、そして児童生徒や若者とミュージアムをつなぐ「博物館浴*」プログラム開発を図ることで、社会資源の新たな活用方策＝社会的処方場となる「博物館健康ステーション」運用方策を提案したいと考えます。

今回の連続講座は、「オンライン語り場」と名づけています。

毎週金曜日の午後からの90分。地域のミュージアムを活用しながら、粘り強く実践活動を進めている、学芸員、教員、リンクワーカーなどからの話題提供を受け、その後は参加者と一緒に意見交換を行う「語り場」とします。

こうした「語り場」を通じて、地域の学校、社会教育施設・社会教育団体などが協働した新たな地域人材育成の方策やプログラム開発を考える機会を共に作りましょう。

* 博物館浴：博物館見学を通して、博物館の持つ癒し効果を人々の健康増進・疾病予防に活用する活動

「オンライン語り場」日程一覧

回数	開催日	開催時間	タイトル	講師
1	11月8日(金)	13:30～15:00 話題提供 30分、 その後は「語り場」	20年目の「子どものための美術館」をふりかえる	中込 潤（九州産業大学美術館）
2	11月15日(金)		鑑賞教育×平和教育プラットフォームの製作と活用	堀越 時李子（長崎県美術館）
3	11月22日(金)		不登校児童生徒を支える博物館活動	池田 優・中西 希（北九州市立自然史・歴史博物館）
4	11月29日(金)		夢二を伝える「こども学芸員」活動	小嶋 ひろみ（夢二郷土美術館）
5	12月6日(金)		小学生からシニアまで！骨格標本作製サークル「なにわホネホネ団」の21年	西澤 真樹子（認定非営利活動法人大阪自然史センター・なにわホネホネ団）
6	12月13日(金)		恐れず弟子をとれ！～博物館の最コアユーザーの育成～	刀禰 浩一（沖縄市立郷土博物館）

開催方法

Zoomによるライブ配信双方向型ミーティング

定員 >>> 各回30名

受講料 >>> 無料

参加対象

博物館・図書館・公民館/医療・福祉従事者、大学教員、学芸員有資格者で「リンクワーカー」「プログラム開発」に関心がある方、博物館学を学ぶ学生等

主催：「児童生徒の不登校」「若者のひきこもり」課題解決に向けた社会資源を活用した「メンタルヘルス」支援プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会
（代表＜九州産業大学美術館＞、九州大学総合研究博物館、九州国立博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、直方谷尾美術館、下関市立考古博物館）

「未来の学芸員」育成プログラム開発講座

オンライン語り場

第1回

11月8日(金)

時間 13:30~15:00 (受付)13:15~



20年目の
「子どものための美術館」をふりかえる

公募で集まった子ども達がスタッフとなり、約半年かけて展覧会を作る「子どものための美術館」(直方谷尾美術館)は今年で20年目。その歩みと、子ども達の成長について、立ち上げた学芸員が、元子どもスタッフとともに話します。

中込 潤 (Jun NAKAGOME) 福岡県/九州産業大学美術館、学芸室長

第2回

11月15日(金)

時間 13:30~15:00 (受付)13:15~



鑑賞教育×平和教育プラットフォームの
製作と活用

長崎県美術館は、鑑賞教育と平和教育の関連性に着目したプロジェクトに取り組んでいます。あらゆる教育現場で、子どもたちと作品との多様な出会いをサポートするデジタルコンテンツについて話します。

堀越 蔭李子 (Mariko HORIKOSHI) 長崎県/長崎県美術館、エデュケーター

第3回

11月22日(金)

時間 13:30~15:00 (受付)13:15~



不登校児童生徒を支える博物館活動

オンラインによる授業で博物館が果たす役割や、事業に関わる担当者の熱い思いをお伝えします。また、子どもたちの感想をもとに、学習への興味・関心の高まりや、外界への意識の変化についてもお話します。

池田 優 (Hiroshi IKEDA) 福岡県/北九州市立自然史歴史博物館、教育普及担当係長(ミュージアムティーチャー)
中西 希 (Nozomi NAKANISHI) 福岡県/北九州市立自然史歴史博物館、学芸員

第4回

11月29日(金)

時間 13:30~15:00 (受付)13:15~



夢二を伝える「こども学芸員」活動

夢二郷土美術館では2011年から「こども夢二新聞」の募集を開始、翌2012年から「こども学芸員」活動を継続しており、故郷を同じくする子どもたちが竹久夢二を発信しています。その活動内容などをお話します。

小嶋 ひろみ (Hiromi KOJIMA) 岡山県/夢二郷土美術館、館長代理・学芸員

第5回

12月6日(金)

時間 13:30~15:00 (受付)13:15~



小学生からシニアまで! 骨格標本作製サークル
「なにわホネホネ団」の21年

自然史博物館を拠点に活動する「なにわホネホネ団」。年齢も職業も異なる団員が、哺乳類の骨格や毛皮、鳥類剥製を21年間作り続けています。前代未聞の標本サークルが、博物館でどんな化学反応を起こしたかをお話します。

西澤 真樹子 (Makiko NISHIZAWA) 大阪府/認定NPO法人大阪自然史センター、理事・教育普及事業担当、なにわホネホネ団 団長

第6回

12月13日(金)

時間 13:30~15:00 (受付)13:15~



恐れず弟子をとれ!
~博物館の最コアユーザーの育成~

専門的に学びたい子どもたちを、博物館はどうやってサポートすべきでしょう? 地域の博物館が昆虫少年をあつめ、未来の学芸員候補へと育てる過程をお話します。

刀禰 浩一 (Koichi TONE) 沖縄県/沖縄市立郷土博物館、主任学芸員

【参加にあたっての注意事項】

- 参加にはWi-Fiなどの安定した通信環境と、インターネットに接続したパソコンやタブレット、スマートフォンが必要になります。
- 円滑な参加のために、事前に「ミーティング用Zoomクライアント」をインストールしておくことをお勧めします。インストールはこちらをご参照ください。
https://zoom.us/download#client_4meeting
- ZoomのURLの転送、視聴中の録画や録音は固く禁じます。

メール申込は
こちら



申込方法	受講希望の方は、① 件名:連続講座(未来の学芸員) ② 内容:氏名(ふりがな)、所属、職名、この連続講座に期待することを書いて、E-mail: museum03@ip.kyusan-u.ac.jp へ、お申込みください。なお、申込締切は10月25日(金)とします。また、単発参加希望の場合はお問い合わせください。		
参加対象	博物館・図書館・公民館/医療・福祉従事者、大学教員、学芸員有資格者で「リンクワーカー」「プログラム開発」に関心がある方、博物館学を学ぶ学生等		
開催方法	Zoomによるライブ配信双方向型ミーティング	定員 >>> 各回 30 名	受講料 >>> 無料
問合せ先	中込 潤 (実行委員会事務局長、九州産業大学美術館学芸室長) E-mail: museum03@ip.kyusan-u.ac.jp		
事業責任者	緒方 泉 (九州産業大学地域共創学部特任教授)	 九州産業大学美術館 Museum of Kyushu Sangyo University	〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1 tel 092-673-5160 / fax 092-673-5757 ksumuseum@ip.kyusan-u.ac.jp https://www.kyusan-u.ac.jp/ksumuseum/
主催	主催:「児童生徒の不登校」「若者のひきこもり」課題解決に向けた社会資源を活用した「メンタルヘルス」支援プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業 実行委員会(代表<九州産業大学美術館>、九州大学総合研究博物館、九州国立博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、直方谷尾美術館、下関市立考古博物館)		